



公民館報

くしもと

No.113
(2023/12/1)

編集・発行：**教育課**
串本町サンゴ台690番地5
TEL 0735-67-7260 / FAX 0735-67-7326



表紙文化財紹介

出雲獅子舞

町指定文化財 民俗文化財(無形民俗文化財)
平成元年6月16日指定

今月号の表紙は、「出雲獅子舞」です。

令和5年度の本宮は10月8日に行われ、朝貴神社では神事のあと、幣の舞に始まり剣の舞、神明讚、神宮の舞、乱獅子、寝獅子、天狗、花がかりまで奉納しました。

見どころは荒々しい「花がかり」で、昨年度新調された獅子頭、獅子舞胴幕、太鼓のお披露目にもなりました。

第19回

串本町民音楽祭 出場者募集

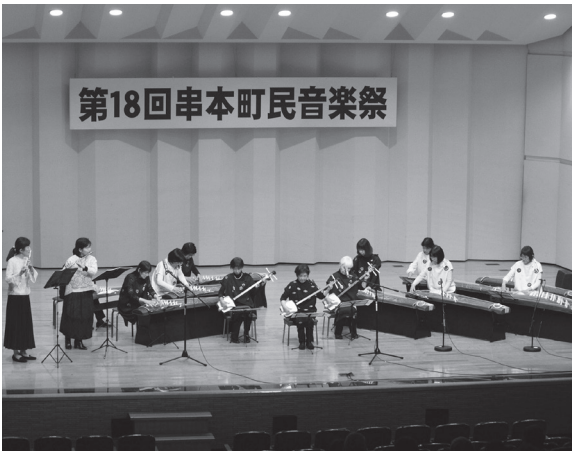
第19回串本町民音楽祭の開催要項ができました。

町民音楽祭は様々なジャンルの音楽愛好者が、それぞれ趣向を凝らした演奏等を行い、観覧者を楽しませてくれます。

第18回は、例年より参加者が少なかったですが、4年ぶりに開催することができました。

たくさんのご参加をお待ちしております。

開催要項、参加申し込みについては下記のとおりです。



趣旨

串本町の文化活動のひとつとして、町民各位の音楽鑑賞と発表の場を作り、より良い音楽活動と文化づくりに寄与する。

主催

串本町・串本町教育委員会
串本町音楽協会

日時

【器楽・合唱等の部】

令和6年3月3日(日)

午後1時から

【バンドの部】

令和6年3月10日(日)

午後1時から

場所

串本町文化センター 大ホール

ジャンル

器楽・詩吟・邦楽・民謡・吹奏楽
・コーラス・バンド 他



参加資格

串本町内に在住する個人またはグループ(町外に在住する方でも、町内のグループに所属している方は参加できます。)

※カラオケは全体で3組までとし、申込多数の場合は抽選とさせていただきます。

演奏時間等

【器楽・合唱等の部】

1 団体8分以内

カラオケは1曲(2コーラス迄)

【バンドの部】

1 団体25分以内



参加申込

〈申込先〉

串本町教育委員会 教育課

0735(67)7260

〈申込締切〉

1月22日(月) 午後5時まで

リハーサル

【器楽・合唱等の部】

3月1日(金)

午後6時30分〜午後9時30分

3月2日(土)

午前9時30分〜午後9時30分

【バンドの部】

3月8日(金)・9日(土)

出場数に応じて調整予定

その他

○申込締切後、出場グループによるプログラム編成会議を行います。

○応募状況により、開催日程等を変更する場合があります。

○状況により、急遽中止となる場合があります。



第19回 串本町民総合展

11月10日から12日まで、町文化センターと町立体育館で串本町民総合展を開催しました。

この総合展は、町民の美術に関する愛好心と鑑賞力を啓発し、美術作品の創造意欲を盛んにすると共に、町の文化向上、発展に資することを趣旨として毎年開催しています。

生花、押し花、山野草、フラワーデザイン、書道、俳句短冊、手芸、切り絵、ちぎり絵、俳画、写真、工芸、絵画など様々なジャンルの作品450点以上が出展されました。

今年も串本古座高校から、美術選択生や書道部の出展がありました。

最終日は、書道部がパフォーマンスを披露し、観客を楽しませてくれました。

3日間で延べ1484人が来場し、多種多様な芸術文化を鑑賞されました。



STOP! 自撮り被害

インターネットの危険から子供を守ろう!

自撮り被害とは、だまされたり脅されたりして自分の裸などの写真を撮影して送られることです。インターネット上に写真が流出すると、不特定多数の人にコピーされ、すべての写真を削除することは困難です。令和4年度のSNSに起因する被害児童生徒の状況は高い水準で横ばい状況ですが、小学生の被害数は前年と比較して37.3%も増加しています。(参考：警察庁統計)

加害者・被害者にならないために

■自撮り画像は撮らない! 送らない!

県青少年健全育成条例により、青少年に対して児童ポルノに相当する自撮り画像を要求する行為を禁止しています。

■フィルタリングは必ず利用しましょう!

青少年が携帯電話端末等を使用する場合は、法律に基づき、原則としてフィルタリングサービスを利用しなければなりません。

フィルタリングを有効にすることが、子供を犯罪から守ります。

■家庭で決めよう! スマホの使い方のルール



放送大学入学生募集

放送大学はテレビ・インターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で、幅広い世代の方が学んでいます。詳しい資料を送付いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

○募集学生の種類 (2024年4月入学生)

教養学部

科目履修生 (6ヶ月在学し、希望する科目を履修)

選科履修生 (1年間在学し、希望する科目を履修)

全科履修生 (4年以上在学し、卒業を目指す)

○出願期間

第1回 2024年2月29日まで。

第2回 2024年3月1日から3月31日まで。

インターネット出願も受付ています。

○資料請求 (無料) ・お問合せ先

放送大学和歌山学習センター

〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7-20

TEL073-431-0360

放送大学ホームページ <https://www.ouj.ac.jp>



来年2月11日(日)に和歌山市で開催される第23回市町村対抗ジュニア駅伝競走大会に向けて、串本町チームの全体練習がスタートしました。監督はジュニア駅伝OBの松下大祐さんに務めていただき、現在21名のメンバーで取り組んでいます。昨年の大会では、久保凜さん(当時潮岬中3年)が8区の区間記録を更新、チームも8位に入賞の好成績を残しています。第23回大会でもより良い結果を出せるよう、選手たちは毎週練習に励んでいますので、応援よろしくお願ひします。



図書館より 新着図書のお知らせ

- ◆プレデター
あさの あつこ
- ◆日暮れのあと
小池 真理子
- ◆レーエンデ物語
多崎 礼
- ◆60歳のトリセツ
黒川 伊保子
- ◆ほどよく忘れて生きていく
藤井 英子
- ◆梅雨物語
貴志 祐介
- ◆祖母姫、ロンドンへ行く!
榎野 道流
- ◆病気の壁
和田 秀樹
- ◆笠置シヅ子自伝歌う自画像
私のブギウギ伝記 笠置シヅ子
- ◆いい子のあくび
高瀬 隼子



10月29日に串本町総合運動公園サン・ナンタンランドにおいて、第19回串本町民大運動会を開催しました。

この運動会は町民相互の親睦と交流を図り、各人の健康づく

りに寄与することを目的として行われるものです。

コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となり、例年より参加人数も減りましたが、各地区や団体の皆さんの協力を得ながら、



第19回 串本町民大運動会



開催することが出来ました。

開会式では、串本古座高校の水口ケツトを発射。団体対抗リレーでは、各地区だけでなく職場やスポーツ仲間などの参加もあり、大きな声援で盛り上がり上がりました。

閉会時には、参加者が輪になって串本節保存会の演奏で串本節を踊りました。



第19回

串本町秋季グラウンド・ゴルフ大会

10月16日に県立潮岬青少年の家にて秋季グラウンド・ゴルフ大会を開催しました(町グラウンド・ゴルフ協会・町体育協会・町教育委員会主催)

大会は、グラウンドに設置した16ホールのコースを2周する形で行

い、愛好者133人が個人成績を競いました。

見事な秋晴れの中、みなさんプレーを楽しんでいました。

なお、上位入賞者については次のとおりです。(氏名右の数字はスコア・ホールインワン数)

男性の部				
1位	井沼 賢吾	60	5	
2位	堤 達夫	72	2	
3位	速水 洋治	75	2	
4位	浜口 智道	76	1	
5位	安原 昭	77	2	
6位	安井 英夫	77	1	
7位	松下 博之	78	2	
8位	元平 忠夫	78	1	
9位	元平 成昭	78	1	
10位	辻内 救	78	0	

女性の部				
1位	安井よし子	72	3	
2位	山崎麻智子	74	1	
3位	友宗佐江子	75	1	
4位	吉田 洋子	78	2	
5位	松下あきよ	78	1	
6位	浅井 節子	79	1	
7位	山崎トシエ	79	1	
8位	中地三重子	80	0	
9位	地主 春美	81	2	
10位	吉岡 一枝	81	2	



男性の部上位3名



女性の部上位3名



10月15日、町教育委員会主催の「歩こう会」が開催されました。



三重県熊野市の鬼ヶ城駐車場をスタートし、松本峠、七里御浜、花の窟等を半日で歩く約5kmのコースで、当日は38名が参加しました。
参加者のみなさんは、雨上がりの苔むした石畳を注意深く進み、峠の東屋からは約25キロ続く七里御浜と山並の眺望を楽しんでいました。

歩こう会

2023



変わりゆく ふるさとの海

最近流行の言葉にSDGsがある。言葉だけを簡単に訳すと「持続可能な開発目標」となる。スローガンとしての言葉は短い、その中に含まれる17の目標一つ一つは途方もなく大きく、特に「平和と公正を全ての人に」等という目標など、昨今の世界情勢を見てみると、まるでブラックジョークとしか思えない。

その14番は「海の豊かさを守ろう」である。三方を海に囲まれた串本はまさに海の町、海と共に生きてきた町である。子供の頃からこの海で遊び、またこの海で働いてきた人間にとっても、この海は母であり友である。それは多くの串本育ちの人に共通の認識だろう。串本生まれの私自身も仕事やプライベートであちこちの海を訪ねては潜ったり、釣りをしたりしたが、やはりこの串本の海は世界的に見ても最高レベルだと感じ

る。ここにずっと住んでいる人にとっではごくごく当たり前のこの海だが、実はここ串本の海は世界でも稀有の特質を持った海である。その最大の特徴は串本には二つの海が共存するという事である。串本海中公園の海中展望塔から海中を覗くと、そこに

はサンゴが一面に生い茂っているが、車で10分走って古座の海に潜ってみると、そこにあるのはサンゴではなく海藻が茂る海。例えていうと、串本は同じ町の中に「沖繩の海」と「関東の海」を抱えている世界的に見ても大変珍しい町なのである。

この西側の海は温帯域の中にありながら世界一の暖流黒潮の影響で沖繩を思わせる亜熱帯の海となり、世界最北のサンゴの大群落が広がる海域となっている。サンゴの海は串本の上浦海岸付近から始まり、町境の和深辺りまで続く。この海域の中に、海域公園地区(旧海中公園地区)や、ラムサール条約登録地の多くが含まれる。ここには125種以上のサンゴ、2000種とも言われる魚、そしてありとあらゆる生き物が生息している。串本にはダイビングショップが20軒以上もあるが、それは串本が海がきれいというだけでなく、生き物の多様性が他海域と比べて圧倒的に高いからである。串本の人たちは「串本には何も無いからの」と口癖のように言うが、とんでもない。この海はまさに宝の海なのである。

しかしこの宝の海も、近年大きな変化を見せている。その一つの例が串本の名産ヒジキ。中でも姫の海岸に生える「姫ヒジキ」は、波の静かな内海に生えるので質が柔らかく、串本の特産となっていた。ところがこの姫ヒジキがここ2

3年で急速に減り、ほとんど生えなくなった。その原因としては、高水温と黒潮の蛇行が挙げられている。高水温については今や全国的、世界的なもので、各地で異変が相次いでおり、海藻類が枯れてしまう磯焼けも頻発している。串本のヒジキは20年位前までは串本の西側海域にもたくさん繁茂しており、浜一面に干されたヒジキの絨毯は春の風物詩であったが、それも今や昔、それがここ数年で東側海域にまで飛び火した。東側海域の磯焼けも凄まじく、海底を埋め尽くしていた大型海藻カジメ、通称メエはほぼ枯れ落ち、それを餌とするアワビやサザエはやせ衰えて磯は死につつま。子供の頃古座の河口で行われていたアオノリ採りもすっかりすたれてしまった。

西側海域も変化が大きい。子供の頃、春には湾を埋め尽くすばかりであったホンダワラの藻場は完全に失われ、サンゴも一見沢山あって昔と変わらない様だが、その中身は大きく変化している。かつて海中の多くを占めていたテーブルサンゴと呼ばれるクシハダミドリイシの群落は、今やその後が増えてきた熱帯性のサ



14 海の豊かさを
守ろう



ンゴに覆われて、逆転してしまっている所もある。こちらも高水温の影響が大きいようだ。北海道ではサケが獲れなくなつてブリばかりになるという魚種交代が起こつて漁業者は困っているというが、串本でも昔は見なかつた様な南の魚たちが色々と獲れるようになってきている一方で、獲れる魚の量は減り続けている。生業として成り立たないので、漁業者の数も減る一方だ。

BIGINの名曲「島人ぬ宝」の歌詞に次の様な一節がある。

「僕が生まれたこの島の海を 僕はどれくらい知っているんだろう 汚れていくサンゴも 減っていく魚も どうしたらいいのかわからない」

※(作詞作曲:BIGIN/「島人ぬ宝」JASRAC 09810251からの引用)

確かに、地球温暖化は人間の責任だと言われても、一人一人はどうしていいかわからない。

でも大事な今は今の海を知り、そして今の変化を知る事。海をはじめとする自然から疎遠になりつつある今の人間、それは都会だけでなくこの串本も変わらない。何がこの町の宝かを知らなければ、それが失われてしまつても気がつかない。たとえ高速道路が走り、ロケットが飛び町となつても、海の声に常に耳を傾ける事が出来る人々が住む町、そんな町を目指したいものである。

宇井 晋介編集委員

子ども園児・小学生のみなさんへ

クリスマス会のご案内

日時 12月23日(土)

10時00分から

場所 串本町立体育館



ゲームやレクリエーションなどの楽しいプログラムを用意しています。

いっしょにクリスマス会を楽しみませんか。

みなさんの参加をお待ちしています。

サンタさんから
プレゼントもあるよ!

※未就学児は保護者同伴で来てください。

主催：串本町こども会連絡協議会

共催：串本町教育委員会



令和6年

二十歳の集い

令和6年1月3日(水)

13時00分～(受付12時30分～)

場 所：串本町文化センター

対象者：串本町出身者、串本町に住民登録のある方

平成15年4月2日から

平成16年4月1日までに

生まれた方



お問い合わせ：串本町教育委員会 TEL.0735-67-7260